

Google 翻訳の使い方教室

M. Sugai
Ver 2.0
2023/4/18

内容(約 40 分を予定) :

1) “Google 翻訳”とは



このテキストのダウンロード
ここを右クリック->リンク先保存

- AI 翻訳機、
 - 対応言語[2023/4/18] : 133 語、入力文字制限:5,000 語
 - 入力方法(テキスト、写真[画像]、文書[ファイル]、音声、Web、手書)
 - 音声入力を使えば自分の外国語の発音の良し悪し分かる
 - “Grammarly”をインストールするとスペルチェックをしてくれる
 - オーディオプレイヤーと一緒に使えば“テープ起こし”が可能
- “Audacity”をインストールすると、“テープ起こし”がより簡単で、読み上げピット機能使くと、ディクテーション(書き取り)の練習になる

2)デモンストレーション(実演)

I) テキスト入力機能

日本語のテキストを英語(外国語)に変換し、英語(外国語)を日本語に再変換してみる。

例 1: 

✓ **日本語のテキスト(電子メール)を英語(外国語)に変換**



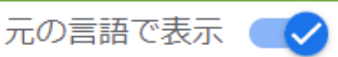


例 2: 

✓ **英語(外国語) のテキスト(電子メール)を日本語に変換**

II) 画像[画像]ファイルの変換(JPG, JPEG, PNG)機能

Example4: “Japanese convenience store clerk.jpg”





(<C:\Users\mitsu\OneDrive\Desktop\Google 翻訳\Japanese convenience store clerk-Picture.jpg>)

- ✓ “Google 翻訳” の web 頁をひらく
- ✓ メニューの左から 2 番目の “ 画像” をクリック
- ✓ 翻訳したい言語(例：英語)と翻訳語の言語(例：日本語)をクリック
- ✓ “ パソコンを参照” をクリックして、ファイル (例：“Japanese convenience store clerk.jpg”) を選ぶ。
- ✓ “元の言語で表示()” の右側のラジオボタンをクリックすると、翻訳前の画像が表示される。右の、 テキストをコピー  翻訳をダウンロード をクリックして、文章のコピーやダウンロードができる。

Ⅲ)文書[ファイル] (DOCX, PDF, PPTX, ZLSX)の翻訳

例 5: “例 : KETC April 10-English.pdf”

["C:¥Users¥mitsu¥OneDrive¥Desktop¥Google 翻訳¥KETC April 10-English.pdf"](#)

- ✓ “Google 翻訳” の web 頁を開く
- ✓ 右から 2 番目の “ ドキュメント ”をクリック
- ✓ 翻訳したい言語(例 : 英語)と翻訳語の言語(例 : 日本語)をクリック
- ✓ パソコンを参照”  ”をクリック
- ✓ “  ”をクリック
- ✓ “  ” をクリック後、日本語に翻訳された文章を入れるフォルダーに行き、ファイルの名前 (例 : “**KETC April 10-Japanese.pdf**”) を付ける。

IV) 音声[スピーチ]機能

- ✓ **聞き取り能力**の(listening capability)の向上
- ✓ 自分自身の**発音の確認**(AI 翻訳機が自身の発音を正確に聞き取れるか確認)

例 3:

- ✓ ディクテーション(書き取り)の練習は => “Audacity” を使うと効果的
時間があれば、“Audacity” を使う練習をします。

V) 読みたい Web サイトを翻訳する


✓ “Google 翻訳” の web 頁を開く


例 6: 例 <https://bit.ly/41iUDPT>

✓ メニューの一番右側の “ ウェブサイト” をクリック


✓ 翻訳したい言語(例：英語)と翻訳語の言語(例：日本語)をクリック

✓ URL(<https://bit.ly/41iUDPT>)を“ウェブサイト”に入力

✓ URL の右側にある、“ (翻訳)”をクリック

✓ 原文と翻訳文の切り替えは右上の “” の右の▽をクリック
“原文” or “翻訳”が切り替えできる。

VI)手書き入力したものを翻訳する

右下の”  ”をクリックして手書き入力する。

3) "Google 翻訳"を導入する方法 2つ

I) "Google 翻訳"拡張機能を Web に追加する方法

- 1)"Chrome ウェブストア"を検索 => 2)"Google 翻訳"で検索
- 3)"Google 翻訳" "拡張機能"をクリックしてインストール =>
- 4)"Chrome に追加" をクリック=> 5) "拡張機能を追加"をクリック


II) “Google 翻訳”を Web のブックマークへ追加する方法

- 1) “Google 翻訳”を検索する => 2) “Google 翻訳”をクリック =>
- 3) URLバーの右にある、“☆”をクリック=> “完了” をクリックして、ブックマークに登録する


4) Google 翻訳はスマートフォンを使うと下記のようなこともできる

- ✓ カメラで撮影した文章を入力として、文章として書き出すことができる。
 - 本の抜粋を作るときに最適
- ✓ カメラで文章を撮影しながら、リアルタイムで翻訳できる。
- ✓ 講演なども、リアルタイムで翻訳できる。ただし入力音声の質が問題
- ✓ クリアな録音したものを入力として使うと正確な翻訳ができる。テープ起こしに最適
- ✓ 手書き入力も PC よりは簡単


例 1:

- おはようございます。 : Buongiorno、 добрий ранок、 buen día、 magandang umaga、 Guten Morgen、 bonjour、 bom dia、 доброе утро、 good morning、 안녕하세요、 早上好、
- こんにちは : Ciao、 П р и в і т、 Hola、 Kamusta、 Bonjour、 П р и в е т、 Hello、 안녕하세요、 你好、
- ありがとうございます。 : Grazie、 Дякую тобі、 gracias、 Salamat、 Danke、 merci、 obrigado、 Спасибо、 thank you、 감사합니다、 谢谢 

例 2:

右のアイコンをクリックします。 “ ↔ ” icon. 

例 3:

左下のマイクロフォンのアイコン”  “をクリックした後で、 下記を読んでみて、 正確に入力できれば OK
“Seventy years ago today, at 8:15 in the morning, the U.S. dropped the **world's** first atomic bomb on the Japanese city of Hiroshima. Destruction from the bomb was massive. Shock waves, radiation and heat rays took the lives of some 140,000 people. “

“70 年前の今日、午前 8 時 15 分、米国は世界初の原子爆弾を日本の広島市に投下しました。爆弾による破壊は、巨大な衝撃波の放射線と熱線でした。3 日後、米国は 140,000 人の命を奪いました。日本の長崎市に投下された 2 番目の原子爆弾により、さらに 74,000 人が死亡しました。” 